



ガラスの光と彩

▼硝子工芸家・宮城真理子さん作

幸樹会館のお近くに在住。多摩美大卒。4/17～5/20まで、日本橋「コレド室町3」4階のちばぎんひまわりギャラリーで「宮城真理子展」が開かれます（入場無料）。時間 10：00～18：00、休廊日 4/23、5/1、5/7、5/14、主催・千葉銀行。

第14回地域交流カフェ

日時：4月17日(火)12:00～、場所：さんしょうリビング《参加自由》

- 食事会 12:00～、「居酒屋のぶ」・「合唱団てつ」立ち上げ紹介・「気功」
- 紙芝居「松戸の昔ばなし」内中澄江さん他
- お話「在宅生活を続けるための介護制度の活用」

あんず居宅介護支援事業所所長・田中和世

お薬相談・看護介護相談コーナーあります。ご相談ある方はご利用ください。



前回の紙芝居

4月から診療・介護報酬が改定されます

質の良い在宅ケアをめざし、 いっそうの努力を続けます！

2018年度予算作成で、安倍内閣は6300億円と見込まれた社会保障の自然増を1300億円圧縮する予算方針を決定し、それに基づいて厚労省は、診療報酬・調剤報酬・薬価の医療費全体で▲1.19%のマイナス改定、介護報酬は+0.54%の引き上げとする報酬体系を決定しました。1300億円の抑制財源はおもに薬価切り下げで生み出しました。新しい診療報酬・介護報酬は4月から実施されます。

団塊の世代が75歳以上になる2025年を見据えた最後の診療・介護報酬同時改定ということで、質が高く効率的な医療、誰でも住み慣れた地域で暮らし続けることができる地域包括ケアシステムを進化・推進するための改定とされています。

私たちは、質の高い医療・介護のためには、土台を支える医療・介護従事者の待遇を改善する診療・介護の基本的部分の引き上げが必要と考えていますが、「住み慣れた地域でその人らしく最後まで人生を全うすることを支援します」という幸樹会の理念の実現をめざすうえで、有効で重要な報酬内容は積極的に活用していきたいと考えています。

今回、私たちも取り組んできた医療・介護連携や社会貢献・地域づくり参加などに、新たな報酬が設定されています。それらの新しい報酬体系に依拠しながら、より充実した在宅ケア事業を進めていきます。

改定された報酬体系で、利用者の皆さまの利用料(1~3割負担)にも一定の変動がありますので、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

からたち薬局

かかりつけ薬局・薬剤師、 在宅訪問活動などを充実

安全安心な調剤、健康づくりに貢献する薬局機能を高め地域包括ケアでの役割を担っていきます。薬の情報を一元的に把握し、副作用防止、多剤・重複投薬や相互作用の防止に役立て、気軽に相談できる薬剤師・薬局として、4月から「かかりつけ薬剤師・薬局」「地域支援体制加算」を算定する薬局として届出をします。従来から行ってきた在宅薬剤師訪問、24時間対応、副作用報告なども充実させ、日本医療評価機構のヒヤリ・ハット事業に参加して行きます。退院時共同指導にも積極的に参加します。松戸市の薬剤師会・医師会が中心になって進めている在宅医療・訪問薬剤師活動の調査にも参加し、入院・退院・在宅連携にスムーズに行えるよう協力していきます。



介護予防・総合事業サービス従事者の実施者研修も行われました。(3月28日)



松戸市指定の通いの場「あつまーれ幸樹」(旧からたち薬局)のチューリップも満開です。

訪問看護・介護事業所

医療・介護連携を いっそう充実させていきます

今回の改定では、重点課題の医療・介護連携をより推進するために、退院支援、情報提供連携、急変時・看取り対応等が評価されています。**あんず訪問看護ステーション、あんず居宅介護支援事業所、ケアステーションゆず、看多機さんしょう、介護ショップ**からたちが、今までも重視してきたことですが、いっそう医療・介護連携を進め、地域の皆さんのお力を借りながら、より内容の濃い、質の高いサービスが提供出来るように、取り組んでいきたいと思っています。

ケアステーションゆず

生活支援・困りごとサービス事業を 4月から開始します

前号でお伝えしましたように、ケアステーションゆずが、松戸市の介護予防・日常生活支援総合事業サービス事業者を選定され、訪問型生活支援サービス・困りごとサービスを4月から実施します。利用者は、要支援1.2と「事業対象者」です。この事業に、地域の皆さんにも従事者(有償ボランティア)としてご協力いただき、一緒に住みよい地域づくりを進めていきたいと思っています。(大塚かすみ)

居酒屋やってみたい!

さんしょうのお正月を彩ったおせち料理を鮮やかな包丁捌きで作ってくれたご利用者の助川信弘さん(70歳)。



栗きんとんは「砂糖の灰汁抜き」「くちなしの実で色づけ」などと次々と指示、職員も教わりながらせっせと作りました。さつまいも

の裏ごしが大変と弱音を吐く職員に「こんなの大変って言わない」と檄(げき)を飛ばしていました。……(中野三代子)

助川さんはどこのご出身ですか?

助川 茨城県出身。三人兄弟の真ん中で、兄と妹がいる。子どもの頃は魚とりばかりしていたねえ。

学校を卒業して上京、初めて勤めた店はうなぎや。中山競馬場にも出店しているところで、土日は競馬場に出張し、平日は店で働いていたよ。

休み無しで働いていたのですか?

助川 そうだよ、みんなそんなもんだったよ。6時半ごろに起きて、夜は8時ぐらいまでずっと働くんだ。仕事はそういうものだと思っていたから、辛いとか思っていなかったね。苦しかったといえば、食事があまり良くなく、おかずは梅干くらいで、年寄りが見張りに来るのが嫌だったな。

うなぎは「裂き3年」「串打ち3年」「焼き一生」。ずっと炭火で焼いていて、手の甲も焼いてしまったことがあったね。うなぎは、良く売れたよ。

最初はうなぎやに勤めたけれど、途中から日本料理やに変わったんだよね。

だから、色々知っているんですね!

助川 (にやりと笑って…)。結婚をして、3人娘がいるけれど、今は一人暮らしをしている。娘は憎まれ口



助川信弘さん

ばかりたたいているけれど、やっぱり可愛いといえれば可愛いね。

趣味は何ですか?

助川 最近には行ってないけれど、競馬。あんまり沢山お金をかけたりはしないけどね。キタサンブラックが強かったよ。後ろから行って刺すとき(追い抜くとき)スカッとするね(にやり)。

これからはどんなふうに過ごしていきたいですか?

助川 さんしょうでもっと活動したい。料理は続けたい。4月に花見弁当を作りたいね。メニューは筍ご飯・エビフライ・出汁巻き卵かな。この季節だと「なまこ」が美味しいね。このわた・このこ(なまこの卵巣)なんか珍味だよ。アオヤギのヌタとか、セリのおひたしや酢味噌和えもうまいねえ。

さんしょうで居酒屋みたいなのもやってみたいね。

なまこ!!ですか…。でも、居酒屋はいいですね。ぜひ実現させましょう。助川信弘さんの名前をとって、「居酒屋のぶ」なんて、どうですか?(助川さん、にやり)

シリーズ・『いまと昔の物語』から見た 河原塚の風景いろいろ…最終回 ほかの地域でも挑戦を

河原塚史編纂事業の完成は、歴史や地域づくりにかかわっている方々から「すごいことだ」と評価をいただいています。ただ、それをやり遂げた編纂委員会のメンバー14人には、歴史の専門家が1人もいません。それでも努力すれば、この程度のことにはできるということです。ほかの地域でも、ぜひ挑戦していただければと思います。

どんな努力をすればよいのか。まずは歴史の勉強です。調査・執筆を担当した私は、『松戸市史』を全部読みました。千葉県史も旧石器時代から縄文時

代のあたりは大体目を通し、地球規模での環境の変化を知りました。それによって、起伏が多い河原塚の地形や、縄文時代の漁業の変化などの背景も描けることができました。

編纂委員会としても、松戸市立博物館の常設展示はもとより、テーマごとの展示も見学し、講義も受けました。房総のむらや、遠方では長野県長和町の鷹山遺跡も泊り込みで見学にいきました。必要に応じて勉強するというやり方です。

あとは新しいことを調べることです。どこを突けばよいかを考えながら、1つ1つ丹念に調べるしかありません。専門家の助言も大いに役立ちます。問い合わせに「資料はない」といわれても、諦めずに根気強くやるしかありません。

(河原塚史編纂委員会幹事・内中偉雄)



デンマーク便り

ラスムッセン 京子

デンマークの春の祝日というと復活祭です。キリストは弟子のひとりユダに裏切られ十字架に処せられ亡くなりますが、予告があり3日目に復活します。キリストが生涯起こした奇跡のうち最大のものが復活だと言われています。

復活祭はキリスト教の最も重要な祭日です。復活祭がイースターと呼ばれるのはセントルシアの様にアングロサクソン（デンマークや北ドイツ地方）に伝わる春の女神の名前に由来しています。その地方の渡来宗教と現地の宗教の融合が行われたわけです。復活祭は



春分の日（3月21日）から一番近い満月の日（3月31日）の後の最初の日曜日です。キリスト教ではグレゴリオ暦（西暦）を使っています。今年の復活祭は4月1日です（去年は4月16日）。

復活祭の日には枝に綺麗に装飾された卵が飾られます。卵は生命の誕生の象徴とされています。生卵の両方に小さな穴をあけ空気を吹き込んで中身を出して殻だけにし、綺麗に絵付けをします。それを枝に掛けて飾ります。

子供たちは一週間ほどのお休みですから家族で過ごします。この日にはびっくり手紙で貰ったチョコレートやら親族が集まって食事を共にします。エッグハントと呼ばれる、庭のあちこちに隠されたチョコレートの卵や兎のチョコレートを探すゲームをします。集まった家族やお客様がスプーンに載せた卵を何組かに分かれてバトンタッチリレーを楽しんだりします。兎も復活祭には欠かせないものです。子だくさんの兎は豊かな生命の象徴とされているからです。

この日には卵料理が前菜となり、ゆでた生ハムの塊に辛子蜂蜜で絡めたオープン料理と温野菜の主菜、そして甘煮の梨のチョコレートソース添えというのがデザートです。



▲絶好の花見日和に、国分川土手へ。（3月28日）

八柱学習会（定期勉強会）

●前回報告3月16日（金）。助言者 武井幸穂氏
テーマ：特別講座「上手に老いるー自己点検ノートを使ってー」その2、講師：石黒 秀喜氏（元厚生労働省老健局介護保険指導室長）

「介護され上手」の準備を

石黒さんのお話から「おまけかるた」を紹介します。
「健康長寿かるた」→④会いたい仲間と交流ある暮らし、⑤生き甲斐をもって趣味を活かす暮らし、⑥ウォーキングとウォーターで“快腸”な暮らし、⑦栄養、エネルギー、笑顔で活動的な暮らし、⑧おらかな気持ちで怒らない暮らし。「終活心得かるた」→⑨あの世へは簡単に逝かせてくれない現代医療、⑩逝き方は、今の生き方・生き方の延長戦、⑪憂いに備えて、老いの自己点検ノート作成、⑫延命措置は遠慮します。寿命の操作はお断り、⑬古い支度。大往生。終わりよければすべてよし。

職員にもたいへん勉強になる内容でした。参加12人。

▼次回学習会予定（定例日：毎月第3金曜日）

●4月20日（金）、18：30～、

昨年度芥川賞受賞作

若竹千佐子著『おらおらでひとりいぐも』から

場所：幸樹会館2階会議室《参加自由》

職員募集！非営利・働きがいある職場 看護師・介護職員

●無資格の方もご相談を。資格取得支援制度あり
問い合わせ：本部中野まで、☎047-701-7550

今月の屋上太陽光発電量は、

995KW



幸樹会館電力使用量 6057KW 自給率 16.4%